



ティーライフ ライブ Live
Vol.22

第40期 中間株主通信

2022年8月1日～2023年1月31日

証券コード:3172

株主の皆様にティーライフの「今」をお伝えします



太陽と水と大地のチカラで
カラダにうれしい
お茶ができました。



株主の皆様へ

Less is More ～ 選択と集中 ～

この春から3年ぶりにマスク着用のルールが緩和され、ようやくアフターコロナへの転換の兆しが見えてきました。海外からの往来も増え、インバウンド需要もコロナ前の水準を取り戻しつつある一方、円安などの影響による原材料価格の高騰が多くの企業の収益を圧迫しています。このような状況下において、企業にはコストの適切な価格転嫁と賃上げを同時に行い、経済の好循環を作り出していくことが求められています。

『Less is More』という言葉があります。「少なくすることで大きな効果を得る」という意味です。先行きが不透明な時代に、「守り」から「攻め」に転じるためには、本当に必要な施策を見極め、経営資源を集中させることによって、少ない投資で最大限の効果を上げていくことが重要です。

お客様の健康と豊かな生活をサポートし続けることが私たちの使命です。人にも地球にも優しいサステナブルな商品やサービスを通じて、お客様に感動と喜びを感じて頂けるよう、グループ一丸となって努めてまいります。

今後とも一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
西上 節也

1963年生 大阪府出身
2019年 1月 ティーライフ入社
2019年10月 取締役副社長就任
2020年 8月 代表取締役社長就任

第40期(2023年7月期)第2四半期連結決算の業績ハイライト

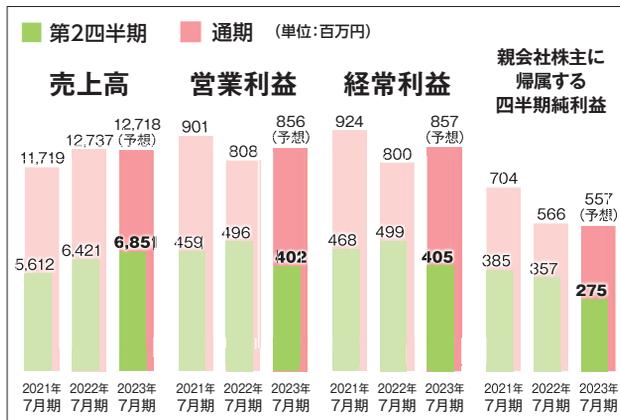
売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半期純利益
6,851 百万円	402 百万円	405 百万円	275 百万円

●セグメント情報

	卸売事業	小売事業	プロパティ事業
売上高構成比	55.0%	38.2%	6.8%
売上高	3,769百万円	2,619百万円	462百万円
セグメント利益	327百万円	1百万円	95百万円

セグメント区分	事業内容	主たる会社
卸売事業	主に食品、生活雑貨を通信販売会社や小売店等に販売	株式会社アベックス、株式会社ダイカイ
小売事業	主に健康茶、健康食品、化粧品、ペーパー用品、キッズ家具、文具・事務用品を一般消費者に通信販売	ティーライフ株式会社、株式会社Lifeit、株式会社オフィスサプライズ、特業美(上海)貿易有限公司
プロパティ事業	主に自社不動産を活用した不動産賃貸、出荷業務の受託	ティーライフ株式会社

*売上高については、セグメント間取引の調整後の数値であり、セグメント利益については、セグメント間取引の調整前の数値であります。



ティーライフ 新商品紹介

新ブランド「NATURE TEA LAB (ナチュレ ティー ラボ)」から 3種類のオーガニックハーブティーが新発売！



「NATURE TEA LAB (ナチュレ ティー ラボ)」はRIKACOさんの感性とティーライフの経験と技術がリンクした、新しいお茶のブランドです。

太陽と水と大地のチカラで生まれたオーガニックティーを確かな技術のもとお届けしたい。一杯のお茶を通じてこころもカラダも社会も豊かにしていきたい。そんな想いを込めて、自分らしく暮らすを基本とし、日々の生活を豊かにする一歩先のティーライフ (お茶のある生活) を提案します。



WEBサイト



Instagram



リフレッシュ

ブレンド

グリーン

ティー

Refresh Blend GREEN TEA 緑茶×ハーブ

「家族の健康と美しい茶畑の景観を残す」をコンセプトに、緑茶とハーブをブレンドした斬新なお茶。スッキリと爽やかなハーブが香り、気持ちを前向きに整えたり、季節や環境の変化に動じない健やかなからだづくりを応援します。カテキン豊富な緑茶のハーブティーは、家族の健康も日々サポートするお守り的な存在です。



ビューティー

ブレンド

ルイボス

Beauty Blend ROOIBOS ルイボス×ハーブ

「忙しい女性に心と身体の休息を」をコンセプトに、美容に嬉しい「ルイボス」をベースに華やかなカモミール、パッションフラワーなどお花を中心としたハーブをブレンド。さびない毎日と内側からキレイを目指す女性を応援します。日々の生活の中でちょっと立ち止まりたいとき、心を静めほっと一息つきたいとき、就寝前のリラックスタイムなどにおすすめのオーガニックハーブティーです。



アクティブ

ブレンド

ダンデリオン

Active Blend DANDELION たんぽぽ根×ハーブ

「アクティブで活発な女性を応援する」をコンセプトに、ノンカフェインで定番の「たんぽぽ根」をベースに、セルフケアによく用いられるエルダーフラワーなどをブレンドしたオーガニックハーブティー。ホットで飲めばお茶が体をめぐりしっかりと温めます。運動の前後はアイスで飲むのもおすすめです。ノンカフェインなので、時間場所問わず飲めるのも嬉しいポイントです。



セグメント別概況

卸売事業

通信販売会社向けの卸売、
天然素材を使用した生活雑貨等の卸売

売上高

3,769百万円
前年同四半期比 +14.8%

セグメント利益

327百万円
前年同四半期比 △7.1%

円安の影響などから原価率が上昇したことにより減益となりましたが、テレビショッピングにおける健康・美容関連商品の販売が好調となり、売上高は過去最高を記録しました。

● コントラクト事業の拡大

法人のお客様向けにインテリアプランニングやコーディネートを行うコントラクト事業に力を入れています。当社が得意とする北欧インテリアや寝具の特徴を活かした空間プロデュースはホテルの客室や企業のオフィススペースと相性が良くご好評をいただいております。



● 自社ブランドの育成

ランドセルの「ずっと」、洗えるバスケットの「トーク」、カエルのフィギュア「コボー」など、多くのファンから愛されているオリジナル商品に磨きをかけて、ブランドとして確立させていきます。



TOPICS

年末商戦もテレビショッピング向けの販売が絶好調

年末のテレビショッピングでは大人気美容サプリメント「J's Kami高麗」をはじめスキンケアの「J.avec toi (ジェイ アヴェクトワ) シリーズ」、 「J'sプレミアム柚子茶」などが好調なセールスを記録しました。
これらの人気商品は楽天市場のショップ「DREAM HOUSE BEAUTY」でも販売していきます。



DREAM HOUSE
BEAUTYは
こちら



小売事業

健康茶、健康食品、化粧品、ウィッグ、インテリア、雑貨等の通信販売

売上高

2,619百万円
前年同四半期比 △8.1%

セグメント利益

1百万円
前年同四半期は1百万円の損失

スマホアプリの利用者拡大やLINE・SNSを活用した販売促進の強化といったデジタルシフトに注力するとともに、広告宣伝費の配分適正化に努めたことにより、セグメント利益が黒字に回復しました。

● 下半期は新製品が續々登場

お茶感覚で飲めるプロテイン飲料(2月)を皮切りに、女性が不足しがちな鉄分の補給をサポートするゼリー(4月)、静岡県産のケールを使用した青汁(5月)など、健康に関する商品が續々と登場します。



● グローバルブランド『SENN JAPAN』

ティーライフの海外向けブランドとして『SENN JAPAN』をアメリカで立ち上げます。日本のお茶文化を世界に広めたいという想いから茶聖「千利休」を連想させるブランド名にしました。



プロパティ事業

自社物流センターを活用した
不動産賃貸、3PL(物流代行サービス)

売上高

462百万円
前年同四半期比 +62.0%

セグメント利益

95百万円
前年同四半期比 △31.2%

光熱費や人件費の高騰などにより減益となりましたが、袋井センター及び掛川センターの安定稼働、名古屋センターの稼働率向上や3PLの請負先の新規獲得により売上高は大きく伸長しました。

● 名古屋センターも満床稼働

昨年営業を開始した名古屋センターも満床稼働となりました。今後は既存センターの賃貸スペースの拡大を行うとともに、3PLの効率化を進めていきます。



● 静岡県の地域経済牽引企業に選出

当社のプロパティ事業が、地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、経済活動を牽引する事業であると認められ、静岡県が推進する「ふじのくに7つの産業革命」における 静岡県公式HP 地域経済牽引企業として紹介されました。



四半期連結財務諸表・その他のデータ

四半期連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	2022年7月期 第2四半期 (自2021年8月1日 至2022年1月31日)	2023年7月期 第2四半期 (自2022年8月1日 至2023年1月31日)	増減率
売上高	6,421	6,851	6.7%
売上原価	3,802	4,487	18.0%
売上総利益	2,618	2,364	△ 9.7%
販売費及び 一般管理費	2,122	1,962	△ 7.6%
営業利益	496	402	△ 18.8%
経常利益	499	405	△ 18.9%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	357	275	△ 22.9%

その他の指標

	2022年7月期 第2四半期 (2022年1月31日現在)	2023年7月期 第2四半期 (2023年1月31日現在)
1株当たり四半期 純利益(円)	84.13	64.85
1株当たり純資産(円)	1,338.11	1,400.00
自己資本比率(%)	68.1	70.5

四半期連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

	2022年7月期 期末 (2022年7月31日)	2023年7月期 第2四半期 (2023年1月31日現在)	増減率
流動資産	4,282	4,328	1.1%
固定資産	3,991	4,126	3.4%
資産合計	8,274	8,454	2.2%
流動負債	1,423	1,342	△ 5.7%
固定負債	1,059	1,151	8.8%
負債合計	2,482	2,494	0.5%
純資産合計	5,791	5,959	2.9%

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

2023年7月期第2四半期(自2022年8月1日 至2023年1月31日)



▶ 詳しくは当社IRサイトをご覧ください。

<https://www.tealifeir.com/>

ティーライフ

検索

決算資料・決算説明会の様子をご覧いただけます。



株式の状況(2023年1月31日現在)

●株式の状況

発行可能株式総数 ————— 14,000,000 株
 発行済株式の総数 ————— 4,257,041 株(自己株式159株除く)
 株主数 ————— 8,554 名

●所有者別分布状況



●大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社N&K	1,416,700	33.27
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	178,100	4.18
植田 佳代子	125,000	2.93
山田 壽雄	99,500	2.33
ティーライフ従業員持株会	72,050	1.69
浅井 伸祐	70,400	1.65
植田 翔子	70,000	1.64
植田 元気	70,000	1.64
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	68,000	1.59
若杉 精三郎	60,000	1.40

会社情報

●会社概要 (2023年1月31日現在)

商号	ティーライフ株式会社
設立	1983年8月
本社所在地	静岡県島田市牛尾118番地
資本金	361百万円
事業内容	健康茶、健康食品、化粧品等の通信販売
URL	https://www.tealifeir.com/ 【IRサイト】 https://www.tealife.co.jp/ 【ECサイト】
主な連結グループ	株式会社アベックス(生活雑貨等の卸売) 株式会社ダイカイ(生活雑貨等の卸売) 株式会社Lifeit(家具等の通信販売) 特萊芙(上海)貿易有限公司(健康茶等の通信販売) 株式会社オフィスサブライズ(文具等の通信販売)

●役員一覧 (2023年1月31日現在)

役名	氏名
代表取締役社長	西上節也
取締役	伊藤和也
取締役	石澤浩和
取締役	児島正雄
取締役	植田伸司
取締役(常勤監査等委員)	岡村朗
社外取締役(監査等委員)	寺田敏子
社外取締役(監査等委員)	岩井理映子

●株主メモ

事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内
基準日	期末 7月31日 / 中間 1月31日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
上場取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
証券コード	3172

●配当金

	第37期 2020年7月期	第38期 2021年7月期	第39期 2022年7月期	第40期 2023年7月期
普通配当(中間)	10円	20円	26円	26円
普通配当(期末)	20円	31円	26円	26円 (予定)
計	30円	51円	52円	52円 (予定)
連結配当性向	30.3%	30.8%	39.0%	39.7% (予定)

●株式事務手続きに関するお問い合わせ先

証券会社等の口座に株式が記録されている株主様

・住所変更、名義変更等
・配当金の受け取り方法の指定、変更
・単元未満株式の買取・買増請求
・マイナンバーの届出

口座を開設されている
証券会社

・未払配当金の照会、支払い
・郵送物等の発送と返戻に関する照会

三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座に株式が記録されている株主様

・マイナンバーの届出
・各種お手続き等

三菱UFJ信託銀行株式会社

※特別口座に株式が記録されている株主様は、証券会社に口座を開設し、
株式をお振替えくださいますようお願いいたします。

●株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをご提出いただく必要がございます。

ご提出のお手続きについては、上記「株式事務手続きに関するお問い合わせ先」へお尋ねください。

株式関係業務のマイナンバーの利用目的

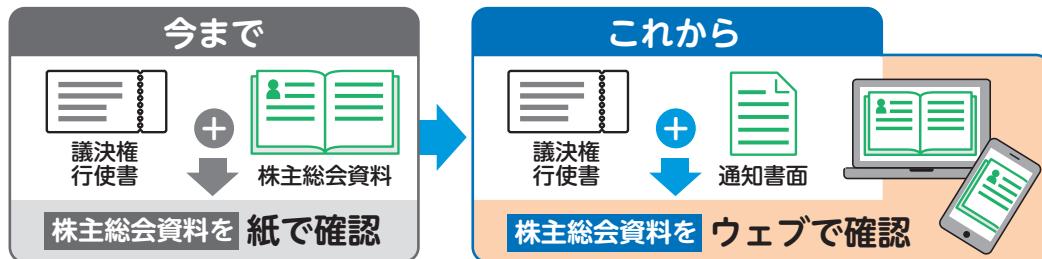
法令に定められたとおり支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。



株主総会資料の電子提供制度のお知らせ

会社法改正により株主総会資料の電子提供制度が始まります！

2023年3月以降の株主総会により、これまで郵送していた株主総会資料（招集ご通知）が原則ウェブ化されます。
株主の皆様におかれましては、会社から通知書面にてご案内するウェブサイトへアクセスすることで、株主総会資料をご確認いただくことができます。



インターネットのご利用が困難な株主様へ

書面で受領するためのお手続き（書面交付請求）が必要となります。

Q

書面交付請求とは？

インターネットを利用することが困難な株主様を保護するためのお手続きです。お申し出いただいた株主様には株主総会資料を書面でお送りします。

なお、書面交付請求を行わなくてもURL等を記載した通知書面はお送ります。

A

Q

書面交付請求の受付期限は？

2023年7月31日までにお申し出が必要です。

お手続きには2週間以上お時間がかかる場合がございますので、余裕をもってお手続きを行ってください。

A

Q

お手続き方法は？

書面交付請求は、証券会社または当社株主名簿管理人でお受けしています。詳細につきましては、

お取引されている証券会社または、当社株主名簿管理人である**三菱UFJ信託銀行**の以下のお問い合わせ先にご連絡ください。

A

※「書面交付請求」により、従来と同様の招集ご通知を受領できるのは、**2023年7月31日時点で100株以上**の当社株式を保有されている株主様に限られますので、ご注意ください。

本件に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電子提供制度専用ダイヤル（通話料無料）



0120-696-505

受付時間
土・日・祝日等を除く
9:00～17:00



<https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html>